

2024年3月7日

Press Release

報道関係各位

一般財団法人日本民間公益活動連携機構

休眠預金等活用法に基づく資金分配団体の決定について ～2023年度通常枠〈第2回〉の助成対象事業を選定～

一般財団法人日本民間公益活動連携機構（所在地：東京都千代田区、理事長：二宮 雅也、英文名：Japan Network for Public Interest Activities、略称：JANPIA）は、2023年度通常枠〈第2回〉の休眠預金等活用法に基づく資金分配団体を決定しました。

今回、26事業（26団体）の申請があり、審査の結果、4事業（4団体）、最長3か年の助成総額約8.20億円を選定しました。

※事業区分別の資金分配団体名とその事業名は別表の通りです。

資金分配団体は、休眠預金等の活用対象となる事業領域において、社会の諸課題の効果的・効率的な解決に向けた事業を企画・設計し、民間公益活動を行う団体（実行団体）を公募により選定、助成等の資金的支援及び経営・人材支援等の非資金的支援を伴走型で提供します。

今後、各資金分配団体は、実行団体の公募、審査、選定を行い、実行団体が次年度より活動を開始する見込みです。なお、各資金分配団体の事業の詳細や実行団体の公募などの情報は、順次 JANPIA のウェブサイトにて公表予定です。

今後のスケジュール（予定）

資金分配団体による実行団体の公募・選定	3月下旬以降 各資金分配団体において体制が整い次第順次開始
資金分配団体から実行団体への助成金交付～実行団体における事業開始	実行団体選定後順次実施

<本件に関する報道関係からのお問い合わせ先>
一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

企画広報部

TEL：03-5511-2026

Mail：info@janpia.or.jp

(別表) 選定された資金分配団体とその申請事業名一覧

団体名	申請事業名	助成予定額
草の根活動支援事業 地域(1事業)		
特定非営利活動法人 ACOBA	生きづらさを感じる孤独・孤立社会の生活支援事業 －課題の可視化と探究を実践し、地域連携力で解決を図る－	1.35 億円
イノベーション企画支援事業(2事業)		
一般社団法人 日本シングルマザー支援協会★	団体と自治体・企業との広範なネットワーク形成を通じてシングルマザーに対する自立支援パッケージの構築を目指す	1.74 億円
特定非営利活動法人 放課後 NPO アフタースクール*★	「排除」から「包摂」へ インクルーシブな放課後創造事業 －特性・事情・環境に関わらず、すべての子どもが成長できる「放課後」を創る－	2.67 億円
災害支援事業(1事業)		
特定非営利活動法人 ジャパン・プラットフォーム	支援から取り残される被災者への支援体制強化 －豪雨災害支援を中心とした人道支援ノウハウ移転－	2.43 億円

- ※ 団体名に「*」があるものは、コンソーシアムにて選定された団体です。
- ※ 団体名に「★」があるものは、資金分配団体(コンソーシアム幹事団体)として初選定の団体です。
- ※ 助成予定額は億円単位で表示し、百万円未満を四捨五入しています。

その他の申請団体の情報は、[JANPIAのウェブサイト](#)に掲載しています。

以上